

ワイヤレスブロードバンド推進研究会 SIG-I 第1回会合 議事要旨(案)

1 日時

平成17年7月7日(木) 14時00分～16時00分

2 場所

総務省 10階 1001会議室

3 出席者(敬称略)

(構成員)

森 伸二(尾崎構成員代理)、楠 正憲(田中構成員代理)、永井 研二、若尾 正義、赤田 正雄、石田 和人、伊藤 健司、後川 彰久、岡坂 定篤、梶原 邦昭、金井 毅雄、上村 治、川端 啓之、北川 卓志、庄子 聡彦(小坂井構成員代理)、坂本 光男、佐藤 正房、石山 康(庄納構成員代理)、白石 直、竹内 一斉、花岡 誠之、土肥 智弘(林構成員代理)、松本 賀久、水口 朗、武藤 大、石津 文雄(村上構成員代理)、渡辺 文夫、Snejana Andjelkovic(Saffari 構成員代理)

(総務省)

田中衛星移動通信課企画官、塩崎電波政策課検定試験官、今井電波政策課周波数調整官、根本電波環境課課長補佐

4 議事

- (1) SIG-I の進め方について
- (2) 各提案システムの分類について
- (3) 各提案の概要等について
- (4) 需要・ニーズの分析について(ITU-R WP8F における検討状況)
- (5) その他

5 議事概要

- ・資料 SIG-I-1-1 から資料 SIG-I-1-3 に基づき、SIG-I の開催要綱、SIG-I の検討の進め方、SIG-I の開催スケジュールについて事務局より説明があり、了承された。
- ・資料 SIG-I-1-4 に基づき、提案システムの分類について事務局より説明があり、了承された。
- ・参考資料 SIG-I-1-2 に基づき、提案者より各提案システムについて説明があった。
- ・資料 SIG-I-1-5 に基づき、ITU-R WP8F マーケットレポート関連報告について、株式会社 KDDI 研究所 中村氏より説明があった。
- ・資料 SIG-I-1-4 のシステムの3分類ごとに利用イメージ、需要等を取りまとめることとなり、第3世代携帯電話もしくはその高度化システム及び第4世代移動通信システムについては株式会社 NTT ドコモ 林構成員が、その他のワイヤレスブロードバンドシステムについては KDDI 株式会社 渡辺構成員がとりまとめることとなった。

- ・ 今後は適宜電子メールにより審議や連絡を行うこととなり、メーリングリストを作成することとなった。

6 議事内容

議事について以下のような議論があった。

- ・ 周波数については、提案システムを限定せず利用シーンごとに検討する。
- ・ 資料 SIG-I-1-4 の3つの分類毎で周波数が別となるかどうかについては、今後の議論の前提として、3分類の関係の利用イメージでの整理が必要。
- ・ 分類間の利用シーンがオーバーラップするかしないか、また導入時期も考慮して、周波数の具体的な検討を行う。
- ・ 従来、無線システムは移動、固定という分類であったが、本SIGの提案システムでは移動と固定が混在している。周波数帯幅を議論する場合、アクセス系、エントランス系、中継系を整理することが必要。
- ・ 所要帯域幅の新たな算出法はITU WP8Fにおいて10月に最終決定されるが、内容はほぼ確定しているため、本SIGにおいても算出方法として使用可能。
- ・ 周波数帯の検討については「周波数の再編方針」を念頭に置いて行っていく。

以上